



各 位

平成23年4月25日

会 社 名 フジオーゼックス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 吉川 健三
(コード番号 7299 東証第2部)
問 合 せ 先 常務取締役 服部 孝樹
(TEL 0537-35-5873)

持分法適用関連会社の不正融資発覚に関するお知らせ

当社の持分法適用関連会社である新韓バルブ工業株式会社(韓国)において、今般、内部告発及び当社の内部調査によって、新韓バルブ工業株式会社(以下新韓バルブ)の社長理事による不正融資に伴う損失が判明いたしましたのでご報告申し上げます。

このような事態は極めて遺憾であり、投資家の皆様をはじめ、取引先及び市場関係者の皆様には多大なるご迷惑とご不安をおかけすることになりますことを深くお詫び申し上げます。

本件につきましては、発覚後、直ちに詳細な社内調査を開始し、その内容等の解明に取り組むと同時に、外部の弁護士等と今後の対応を協議してまいりましたが、新韓バルブにおける損失がほぼ判明いたしましたので本日の開示にいたしました。

当社といたしましては、今般の不正融資発覚を厳粛に受け止め、今後の再発防止に向けて全社あげて取り組んでまいります。

1.不正融資及び損失の概要

新韓バルブの社長理事は、平成22年1月から平成23年3月にかけて、新韓バルブが保有する現金及び銀行等からの借入金を使い、社長理事の親族(実弟)に対し、理事会の承認を得ずして196億ウォンの不正融資を行いました。

融資を受けた実弟が経営する企業が破綻したことにより、新韓バルブに貸し倒れ損失が発生したものであります。損失額は、現在調査中ではありますが総額約196億ウォンと想定しております。この内、平成22年12月末時点での融資残高70億ウォンについては平成22年の新韓バルブの決算で貸倒損失処理を行い、残り約126億ウォンは平成23年の決算に織り込む予定です。

2.当社業績への影響等

当社への影響といたしましては、約221百万円の持分法投資損失が発生する見込みであります。単体経営成績および過年度損益については、影響がない見込みであります。

なお、現在、外部機関を含め精査中であることより、当初4月27日に予定しておりました決算短信の開示につきましては、誠に申し訳ございませんが5月13日に予定を変更させていただきます。

3.今後の対応

不正行為を行った社長理事は、2011年4月10日に解任されました。現在、新韓バルブ・当社および他の株主とで同社長理事に対する損害賠償等の訴訟について協議を進めております。

また、2011年4月11日に新たな代表理事を選任し、今後、健全な企業体質構築に努めてまいります。

参考:新韓バルブ工業(株)の状況

| 名 称 | 住 所 | 資本金 | 主要な事業 の内容 | 議決権の所有割合又は被所有割合 | | 関係内容 | |
|------------|---------|-------------|--------------|-----------------|----------|--------|--------------------------|
| | | | | 所有割合(%) | 被所有割合(%) | 役員の兼務等 | 事業上の関係 |
| 新韓バルブ工業(株) | 韓国京畿道華城 | 2,008,020千W | バルブ製造 | 25.0 | — | 兼任3人 | 技術供与、当社製造の機械・治具の販売、製品の販売 |

以上